



120

居合道だより



はじめに

はじめに

年々ひどくなっていく梅雨末期の豪雨。熊本地震で被災をうけた地域に追い打ちをかける災害が懸念されるこの頃、あちらこちらで雨に映える紫陽花を見ると少しはホッと癒やされる気がする。

冒頭の紫陽花の写真は2年前の第96号と1年前の第106号、第108号の当欄で紹介した平原遺跡そばの畑畦の紫陽花である。

3年前に庭の片隅に40数本挿し木をして1年間ほぼ毎日のように水を与え周りの雑草を抜き大切に育てて、ようやく半数近くが成長し苗木になったので2年前畑の畦に移植した。

挿し木した当初は水を与えすぎてせっかく根が張り出したのに根腐れをおこしてはいまいかと心配し、移植した後は夏の猛烈な日照りに枯れはすまいかと随分気をもんだものだが、少し高台になっているので水の便が悪いのもあって水は与えず苗木の生きる力に任せて、雑草だけを取り除いてきた。その雑草取りも苗木の周囲くらいは手で抜けば良いものを、手を抜いて、畦全体と同じように草刈り機で刈り払い、手元が狂ってせっかく育ち始めた苗木数本まで一緒に刈り払ってしまったという苦い経験もした。

ずいぶんと独りよがりの愛情を与え、場当たりの思い込み、わがままをし、失敗をしてきた。

育てる側の過保護とも思われる世話や、身勝手な手抜き、取り返しのつかない過ちにも負けず、今年は10数本が立派に大きく成長し見事なまでに色とりどりの花を咲かせてくれた。ただひとつ良かったとしたら、苗木が自然に負けず豪雨も日照りも糧として自らの力で生きながらえて成長してくれることを信じ、じっと辛抱強く待ち続けた一面もあったことだろうと思う。

もうここまで来たら大丈夫である。来年は一本一本が大きく成長し、どんな天変地異にも負けずに株別れし仲間を増やし続けてくれるはずである。

正直に告白すると、紫陽花の挿し木をした時点から、居合道部のことに思いを重ねてきた。会員の拡大、初心者育てること、そして指導者の有り方、責任等である。

紫陽花の挿し木の歩留まりに、苗木の成長に、そして色とりどりの大輪の花に、密かに思いを託してきたのである。



第49回 福岡県居合道大会 閉会式にて

理事退任にあたり

居合道教士七段 三角泰雄

このたび十数年来携わっていましたが、居合道理事を退任いたしました。これまでやってこられたのも、諸先生方方のご支援があつてのこととありがたく、御礼申し上げます。

さて小生が居合道始め、現在に至って思いますのは、これまで長年関わってきた、ボクシングの世界と居合道の違いと共通性と言う点です、大きな違いは動から静でしょう、ボクシングは一言で言うならば、動、居合では静。共通するのは、ボクシングは実際に相手と戦いますが、居合の場合は、心技体の心という部分で、対戦相手を想定しながら行うという点では、ボクシングも居合も精神的に

は、同じです。この違いと共通性を常に念頭において、これで自分の修行としてまいりました。自分の修行を続けながら、次の課題は人に居合道を教えるということ。これが自分自身の執行よりもはるかに難しいのです。教える後進は常に自分の鏡であります。その後進が、試合で好成績を納めれば正しい指導ができているという自信もできるのでしょう。反対に上達が遅いと自分の指導に問題があるのでしょう。それぞれの後進を常に見ながら、自分自身も精進していくという信念を忘れずに、今後も過ごしていきたいものです。最後に今、世間ではクールジャパンとか若者の間で侍や、刀剣が静かなブームと聞きます。事実外国人や、若い女性たちが増えているそうですが、このタイミングでより多くの人たちの居合道の人口が増えることを望んでやみません。



2015年4月 福岡県武道祭にて 三角先生

主な活動と 7・8月の予定

主な活動

6月5日	福岡県居合道講習会及び称号講習・級審査	アクション福岡
6月26日	第49回福岡県居合道大会	福岡武道館



第49回 福岡県居合道大会 団体戦

7・8月の予定

7月8日	居合道六・七段審査会	香川県
7月9日～10日	居合道地区講習会	香川県
8月7日	居合道講習会	<u>福岡市中央体育館</u>



第四十九回福岡県居合道大会 報告

第四十九回福岡県居合道大会 報告

企画広報担当理事 小田 信秋

県の行事の中で最大イベントである標記大会が、平成二十八年六月二十六日(日)福岡武道館にて、約二百名の参加者を得て開催されました。主催は福岡県剣道連盟であり、大会当日、早朝より上田会長の列席を得て、下は十歳から上は八十九歳までの剣士が日頃の修錬を発揮せんと、開会式前から熱い闘志を漲らせていました。

上田会長の挨拶の中で、「剣道と居合道は、車の両輪のようなもの。会員拡大に尽力されている中で、剣道家の高段者への刀法等の取り扱いにもご協力いただけるとのことを総会でも発表されている。是非、実現させていきたい。」と剣居一体を強調され、頭の下がる思いです。

過去の大会では、無段から七段の部までのトーナメント試合が行われてきましたが、本年から「より参加し易い」「より楽しい」大会にと、執行部一丸となって企画・準備を重ねた結果、

- 1) 各段別トーナメント試合
- 2) 中学一年生以下による少年の部リーグ戦
- 3) 三段以下、三人制による団体戦
- 4) 各段、個人演武と模範演武

と、新しい試みを取り入れることにしました。

五年前から参加人数が二百名を切り、毎年、十名程度の減少傾向にあります。その「歯止め」をかけるための起爆剤にならないかと考えています。目論み通りに昨年百七十名強であった参加者が今回は進行係のみの参加まで入れると二百名に到達しました。

公開演武では日本剣道形を剣道七段の岡野、徳安両先生が、杖道では教士八段の福田、神代両先生が気迫の入った演武を披露されて、【新生県大会】に相応しい幕開けとなりました。





広報委員会 活動報告

広報委員会活動報告

6月より3委員会が発足いたしました。

「総務委員会」「企画・広報委員会」「強化・研修委員会」です。

私たち「企画・広報委員会」のメンバーは、小田・橘蘭・馬場・末次・の各理事と飯塚の高津です。

先ず委員会発足と同時に企画実施したのが、アクション福岡で行った、講習会です。単に振るだけの講習会からの脱皮を図り、県大会での団体戦の予行も視野にまた、県全体の指導者・審判の技量向上を目論んでの講習を行いました。

多少の指導や、変更、修正は有りましたが、参加の皆様の熱意と取り組みのお陰で県の最大イベントである「第49回福岡県居合道大会」も盛り上がりの内に閉幕することが出来ました。迫野居合道部会長の最後の挨拶で「皆さんにお聞きします。今日の大会は楽しかったですか？」の問いかけにすかさず「楽しかったです。」の合唱に一同、報われた思いがしました。本当に御礼申し上げます。

他には、会員拡大活動としてのポスター、チラシの作成、インターネットや新聞等の投稿を行っています。県大会に西日本新聞、読売新聞社が取材に来て頂いたのも広報の一環です。

今から募集が始まる居合道教室に一人でも多くの人が「見に行ってみようかな」「やってみようかな」と関心を向けて戴けるよう頑張って参ります。

また、剣道大会、地域神社等の奉納、竣工された体育館、武道館でのこけら落としでの演武にも積極的に取り組んでまいります。

会員の皆様の更なるご協力、ご支援をお願いいたします。

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟 福岡県剣道連盟 居合道部

第120号 平成28年7月1日発行

URL : <http://riai.info/>

〒819-1132 糸島市有田36番地-1

発行：福岡県剣道連盟居合道部

発行人：井手友太

TEL:092-322-084